総合特別区域評価・調査検討会における評価結果の概要（令和３年度）

２．分野別状況（２）地域活性化総合特区 ①グリーン分野

	総合評価（ⅠとⅡとⅢを1:1:2の割合で計算）	Ⅰ 目標に向けた取組の進捗	Ⅱ 支援措置の活用と地域独自の取組の状況	Ⅲ 取組全体にわたる事業の進捗と政策課題の解決	総合評価に係る専門家所見（主なもの）
ながさき海洋・環境産業拠点特区 （長崎県、長崎市、佐世保市、西海市）	3.5	2.5 進捗度 ・県内造船所による高付加価値船・省エネ船の建造量 75% ・県内造船所による環境関連機器の取扱件数 50% 等	3.7 財政支援等 ・燃料電池船技術評価FS事業 地域独自の取組 ・ものづくり支援補助事業 ・海洋エネルギー関連産業集積促進事業 等	3.8	・評価指標(1)(2)は厳しい結果であったが、海洋再生可能エネルギー利用である(3)に関連して、五島市沖が全国初となる再エネ海域利用法の促進区域に指定され、浮体式洋上風力のウィンドファーム(16.8MW)が建造中であり、また西海市江島沖が有望な区域に選定されるなど、今後、取組みの加速が予定されており、十分に優れている。 ・船舶不況の中で事業の展開に苦慮していることが読み取れるが、海洋エネルギーに関しては現在追い風となっており、両者を同時に運用する中でシナジー効果や波及効果が生じることを期待したい。海上輸送は今後カーボンニュートラル達成のために大きな変革が求められており、そのため県としてどのような技術で優位に立とうとし、そのためどのような体制で技術開発を進めていこうとするか、また現在中国に遅れているバラスト水処理装置の需要の取り込みに対する努力等について明確にし、進めていくことが求められる。 ・風力発電を中核とする新たなカーボンニュートラルコンビナートへの展開等の検討を期待します。 ・厳しい造船事業環境の中、地域独自の多くの支援措置や規制の特例措置を活用したグリーンな海洋関連産業拠点形成への取り組みへの努力が伺われる。伸縮式硬翼帆は環境性能を高めつつ経済性の向上をもたらす技術として有意義。翼帆の数を増やすことでさらに燃費改善が期待されるとのことであり、他の環境装置と組み合わせ、高い技術力を活かし、さらなる高付加価値・省エネ船の実装導入に期待したい。五島市など促進区域を含む洋上風力発電の全国協議会が設立されたとのことであり、共通の目標を有する地域間の連携により、洋上風力による地域振興、地元理解の促進に向けた課題解決のため、制度活用や支援方策などの情報交換のプラットフォームとして期待したい。